

2021年度 定期総会開催

二松学舎大学 父母会報



平成5年5月10日創刊
令和3年7月31日発行
(第113号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



二〇二一年五月二十二日(土)午後一時三十分、九段一号館中洲記念講堂において、二〇二一年度二松学舎大学父母会定期総会が開催された。
染井直人氏の司会により総会が開会され、細谷文雄父母会長、江藤茂博学長がそれぞれ挨拶したあと、新郷尚美議長により議事に入った。
第一号議案の二〇二〇年事業報告並びに決算については、審議の結果、原案どおり承認された。
第二号議案の二〇二一年度役員選出は、会長に細谷文雄氏、続いて会計監査に齋藤智子氏と菅波久美子氏が決定した。
第三号議案の二〇二一年度事業計画並びに予算が審議され、それぞれ原案通り承認された。
議事終了後、二〇二〇年度で役員を退任した工藤恵美氏、小柴有佳氏、新郷尚美氏、由川志織氏の四名に江藤学長から感謝状が贈呈され、総会は終了した。



※父母会活動

「会長就任のご挨拶」

父母会会長 細谷文雄

本年度、二松学舎大学父母会会長を仰せつかりました、細谷文雄でございます。

冒頭、本年お子様が入学されました保護者の皆さまには心よりお祝い申し上げますと共に、新型コロナウイルスにより、多大なる影響を受けておられる皆さま方には心よりお見舞いを申し上げます。昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大と、これに伴う人間社会の未曾有の経験は、私たちの日々新たな生活様式と社会構造の変化をもたらしています。これまでも、自然災害など人間社会を脅かす幾多の困難が有りましたが、全世界が共通に、そして同時にという条件下で発生したこのコロナ禍は、私たちに極めて異例の経験をもたらしております。

さて、日頃より父母会活動へのご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。二〇二一年度の定期総会において、すべての議案の承認を頂き、今年度の父母会活動がスタートしました。その中において、主要事業のひとつである、父母懇談会をオンラインで開催を致しま

す。当日は、学長はじめとする役職教員、学生支援課、教務課の職員の皆さま方も出席致します。懇談会の開催は二年ぶりになります。が、お子様の就学状況や就職活動等その他、不安事などご相談してください。その他、成長支援型奨学金、学生向け一〇〇円朝食、学園祭での父母会喫茶コーナー室など様々な事業計画をした所ですが、コロナ禍により事業の延期や中止になることを懸念しております。なにより本校での活動を楽しみにしている学生のため、何かお手伝い出来ないかと模索しております。なお、事業の詳細等は総会資料に掲載して御座いますのでご参照ください。また不安の中で生活を過ごさなければなりません。が、コロナ禍が収束し多くの人ががこれまで以上に幸せを感じ、さらに充実した未来が訪れることを願っています。結びに、会員の皆さま方のご多幸そして子供たちの成長をご祈念して、就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

※新役員紹介 ※役員に就任して

※小平 修

昨年四月に息子が大学生となり、親子共々期待に胸を膨らませていたのを思い出します。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、思い描いた大学生生活が送れない状況も続いています。が、子供達の成長を少しでも支援できればと思います。微力ではありますが、先輩方の指導を仰ぎながら務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願いします。

※福島 亮介

本年度より、父母会役員を務めさせて頂くことになりました。学校の父母会役員に関しては、全くの未経験になりますが、今までの社会人として培った経験で、何かお役に立てることがあると思えますので、微力ながらお手伝いさせていただきます。父母会役員の先輩方に、ご指導を頂きながら、精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

※丸田 綾

本年度より父母会役員を務めさせて頂くことになりました。子育ての集大成の時期に、このような機会をいただき嬉しく思います。

定期総会にて学生を支援する父母会活動を知り、一人でも多くの学生が安心して過ごせる環境作りのお手伝いをさせて頂いていただければと思います。精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※渡邊 昌子

一年半に亘るコロナ禍の中、閉塞感を抱えながら日々を過ごす学生の姿を目の当たりにし、私自身も後ろ向きな気持ちになっておりました。そのような中、二松学舎大学父母会の活動を知り、こういう時だからこそ皆様のお役に立つことができるのではないかと考え、役員を務めさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

※藤井 由紀子

緑の濃くなった五月。初めて訪れた大学の父母会で私は、緊張していましたが役員の方、事務局の方より優しく声を掛けていただき、温かいものを感じました。この温かいものがコロナ禍でたいへんだった学生の皆さんの心にも届いてほしいと思えました。微力ですがお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

※吉沼 佳慧

この度、本年度の父母会役員をさせて頂くことになりました。国際政治経済学科一年の吉沼です。新型コロナウイルスの影響で、年間の役員会がオンラインとの併用のため無理なく参加することができるとやってみたいと思えました。役員の皆様のご指導をいただきながら頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

N'2030 Plan

今年の計画

理事長 水戸英則



二松学舎は今年一四四年目の年を歩み始め、長期ビジョン「N'2030 Plan」は四年目を迎えました。本ビジョンは、建学の精神に基づき、SDGs、AI技術の発展など激変する社会ニーズに対応するため「論理的思考力の基盤である優れた国語力と、豊かな人間力を有し、自ら考え行動する真の国際人」を目的とした教育体制の構築を目指しております。そのため、

①新時代への対応もできる大学カリキュラム改革、②適切な学部学科変更、③KPIデータシミュボードによる長期ビジョンの進捗度管理を行うこと等の計画を推し進めております。

さて、新型コロナウイルスは依然猛威を奮っていますが、ワクチン接種の進捗や治療薬開発等が進むに従い、これまでの生活が戻ってくるものと考えられます。こうした中で学生の皆様、保護者の皆様には、修学や学生生活について、種々ご心配されたことと思

ます。大学では感染対策に配慮した入学式や学位記授与、オンラインと対面のハイブリッド授業、新入生へのキャンパス案内、教室内の感染リスク削減対策等、できるだけの対応を続けております。また、学校法人としまして、学生生活支援のため給付金・奨学金の支給や増額など、数々の支援措置を取らせていただいております。

さて、二〇二一年度の課題については、「N'2030 Plan」のアクションプランに記載されているとおり、定員管理面では、一昨年の学部の入学定員引き上げ（文学部は四四〇名、国際政治経済学部は二四〇名、両学部合計六八〇名、各学部四〇名増、計八〇名増）に伴い、収容定員が年次進行で増加し、今年度、在籍ベースで二六四〇名と、二四〇名の増員となります。文学部では、新学科である歴史文化学科が来年四月スタート、四学科体制となり、大学院では新たに国際日本学研究科が設置され三研究科体制となります。また来年度導入予定の新カリキュラム（両学部共通の初年次教養教育における数理データサイエンスの導入等）開始に向けた諸準備を行うほか、デジタル教育時代の到来に備えるため、Wi-Fi等キャンパス内のインターネット接続環境のさらなる充実・強化などICT教育環境の拡充を図り、本年四月から学生一人一台ノート型PC配布を開始したところとです。さらにWithコロナ時代の学生支援、就職支援の拡充・強化を図り、大学の使命の一つであるの産業界、地域社会等との連携強化を図って参ります。

最後に、最近学校法人制度については、公益法人の一つとして様々な改革

論議が多くなっております。学校経営がどう動いているのか、経営状態や教育の質、その内容はどうかのかなど「国民の疑問に答え、理解をさらに得ることが必要ではないか」といった議論です。従って、「学校経営を見える化」する試みとして、法人・大学の役員・教職員の行動指針である「学校法人二松学舎二松学舎大学ガバナンス・コード」を策定し、公式HP上で公表いたしました。

以上、本年度も二松学舎大学の更なるブランド力向上を図って参りますので、父母会の皆様、学生、卒業生の皆様をはじめ、本学のステークホルダーの皆様に対しまして、引き続きご支援・ご協力をお願いして、挨拶いたします。

変らぬ松の学び舎

学長 江藤茂博



新型コロナウイルス感染拡大の収束のめどがはっきりとしないなかでの、二度目の夏となりました。延期となった東京オリンピックも開かれることになり、この九段近辺も環境整備から交通整備の段階に入ったようです。

初夏の緑に囲まれたキャンパスです

が、大学に来て勉強をしている学生もいれば、オンライン授業を中心としているためか、その姿をキャンパスには見せない学生もいます。学内の自学自習スペースでは、普段と変わらない学生同士の会話が交わされていますが、やはりキャンパス全体として見れば、ただ寂しい限りです。そうであつても、学生たちの学びの機会だけは保持したいと考えていますし、またそのための工夫も重ねています。学生たちが大学に来ることができても、あるいはできなくても、私たちはできる限り学生が必要とすることに対応し、学生たちを育て、その成長を見守らなければなりません。私たちには、御父母の方々と共に、この社会をより豊かにできる次の世代を育てる使命があるからです。

四世紀から五世紀の中国の詩人淵明の名文として有名な「歸去来辞」に、「三径荒に就けども、松菊猶存す」という箇所があります。ここでは、荒れた庭の小道にも、変わらぬ緑の松があることを彼は詠っていました。また、その松菊は、実際の植物として詠われているだけでなく、気高い精神あるいはその持ち主をたとえているようです。学生たちには、この変わらぬ松の学び舎に早く帰ってきて欲しいと私は思います。二松学舎大学は、東アジア古来の学びの文化を伝統に持つ教育研究機関です。ここから、最新の知と共に、本学らしい気高く清らかな人間知を併せ持つ人材を育て、そして社会に送り出してきました。いまこそこうした困難を乗り越える力を、卒業生たちには發揮してもらいたと思います。そして、皆様のご息女もまた、この松の学び舎から、さまざまな形でその後が続くことでしょう。

●企業の選考は、オンラインがメインになったことで、ライバルが世界中に広がりました。

今や就職活動はオンラインが主流になっていきます。求人の詳細はウェブサイトで、会社説明会は動画、

エントリーはアプリケーション、選考はzoomやmeetやteamsなどのオンライン会議システムを使い、連絡はメールです。対面するのは最終選考だけの場合も多く、オンラインでの選考の準備をしておくことが非常に重要です。

ご父母の皆様には、インターネット接続の高速回線や、接続機器(ウェブカメラ搭載PCやヘッドセット)など通信環境の整備に、ご協力お願いいたします。

そしてオンラインで選考が進んだことで、地方在住の学生や海外留学中の学生などが、居住地や移動時間のハンデなく、選考に参加できるようになりました。同時に地方出身学生もオンラインでのUターン就職の活動ができる環境になりつつあります。

アー
リタ
リ
キャン
よ
キ
セ
だ
63

このような状況の変化により、就職活動の競争相手が世界中に広がりました。より厳しい就職環境に向けて、キャリアセンターではしつかり対策をしていきます。

●柔軟に対応策がとれるのが二松学舎大学です！

インターネットを含め、企業の採用手法は複雑化および多様化しています。それらに対応するには、早期からの意識の変化が必要になるため、今年度より、三年生の全員個人面談を秋から春に繰り上げて実施することとしました。また就職活動で必要となる対策についても効果検証と時期の見直しをかけています。

企業の採用担当者や情報交換を行ない、ときには協力を得ながら、就職活動が必要となるものの準備を進めています。ご子女の将来へのアクションを、必要となるものを先回りして提供していく支援や、行動を後押ししていくことの、両方向からサポートします。

コロナ禍での生活が二年目に突入しました。ワクチン接種が始まりましたが、慎重な感染予防が必須な状況は続きそうです。ここまですべて刻々と変化する状況にその都度対応したり、「当たり前」を問い直して大切なことを選び直していったり、与えられた状況でできることを考え行動しながら過ごしてきたのではないのでしょうか。

学生相談室
だより 113
光 奥野
カウンセラー

分の好みや向き不向き、価値観などが自ずと見えてきたことと思います。大学生が世の中でどう扱われるのか、政治や国の在り方と無関係ではないことをいつになく実感したかもしれません。生活にある一つひとつの事態について自分なりに悩み考える経験を重ねられたら、それは今後の人生の糧となる価値ある時間になると思います。「普通こうでしょう」、「世の中こういうものだから」と片付けるよりも、この特殊な時期に大学生をしていてのお子さんの経験や見ている世界に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

学生相談室では、オンライン、電話、メール、対面でお話をうかがっています。換気可能な部屋が限られています。より予約を取りづらくなっています。どうかご了承ください。ご家族からのご相談もお待ちしています。

が、生活のメリハリが失われやすいので普段以上に自己管理が必要だったはず。また、友人と一緒に過ごす時間が自分には必要だとか、人に合わせすぎてストレスを感じていた面があったなど気づく経験になったかもしれない。当たり前に通学して集団の中で学ぶ日々から離れてみると、自

2020年度決算の概要

概要

2020年度二松学舎大学父母会の会員数は、2020年度入学者文学部485名・国際政治経済学部235名計720名、文学部・国際政治経済学部編入学生（3年次生）10名を新たに会員として迎え、2020年5月1日現在2,976名である。

2020年度は予算総額39,428,614円（前年度からの繰り越し金を含む）で、2020年6月20日～6月30日(土)に行なわれた定期総会（書面議決）で承認された。

定期総会承認後、文学部新入生数に誤りがあり、修正を行ったため、父母会費は、20,900,000円となり、予算総額も△80,000円の39,348,614円となった。

承認された事業計画に基づき諸事業を推進してきた。以下にその事業の概要を記載する。

1. 【地区別父母懇談会】

2020年度の地区別父母懇談会は、香川・鹿児島・青森・茨城・島根・新潟・秋田・東京の全国8会場で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止を余儀なくされ、例年各会場で参加者へ配布していた資料の一つである「2020年度地区別父母懇談会説明資料」作成し、全会員に郵送した。

例年、各会場には、大学から学長、副学長、文学部長、国際政治経済学部長、学務局長、文学部・国際政治経済学部各教員はじめ学務局（学生支援課・教務課及びキャリアセンター就職支援課）の職員が出席し、懇談を通して大学教職員と会員（父母）との相互理解を図ると同時に、大学の現状、学生の大学生活及び就職の実情、単位修得等勉学の状況及び父母会の活動について説明を行っていた。

2. 【教育研究振興助成】

2020年度の教育振興助成は、海外研修学生引率者助成に関しては、語学研修が新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となったため、助成は行わなかった。

他に、「就職筆記テスト」・「面接対策」・「面接特訓講座」・「日本語検定」・「SPI対策テストセンター受験」等への助成、新入生教育助成として『学生生活スタートブック』の冊子を購入し配布した。

3. 【課外活動助成】

落語研究会、多目的音楽サークルGHZなど学外で活動を行った団体・学外で活動を予定していた団体に助成を行った。

学生顕彰として、10名の学生に奨励金を支給した。助成は、「課外活動団体助成費取扱要領」及び「学生顕彰取扱要領」に基づき、実施している。

4. 【大学行事等への助成】

新型コロナウイルス感染症の影響で、新入生歓迎式典《4月》、学園祭（創縁祭）《11月》が中止となってしまったため、助成は行わなかった。

5. 【卒業記念パーティー】

3月16日（火）に卒業パーティー（ホテルグランドパレス）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学位記・授与式及び卒業パーティーが中止となった。

代替措置として、卒業生全員に、多機能ペン・一人当たり5,000円のアマゾンギフト券・ホテルグランドパレスのオレンジケーキの配布を実施した。

6. 【卒業記念品】

卒業記念品として卒業アルバムを贈呈した。

7. 【奨学金】

学生の資格・能力取得育英を目的に、指定した資格取得や教員・公務員等各種採用試験合格者等53名に対して奨学金を支給した。

8. 【弔慰金・災害見舞金】

2020年度の弔慰金・災害見舞金については、会員（父母）7件に対し行った。「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱要領」に基づいて実施している。

9. 【父母会報の発行】

2020年度は、第109号（2020年7月31日）、第110号（2020年10月20日）、第111号（2021年1月20日）、第112号（2021年3月31日）の計4回発行した。

10. 【外国人留学生支援に関する助成】

新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人留学生との懇親会は開催できず、助成は行わなかった。

【特別事業費】

1. 〈宮繕助成等〉

観葉植物設備（九段1号館・3号館・4号館のエントランスや共用スペースに配置及び手入れ等）補助・大学施設の補修に対する助成をした。

2. 〈就職指導支援費〉

キャリアセンターの就職支援活動に対して助成した。

3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを開始し、周年事業等に予算執行してきた。

4. 〈創縁祭参加費〉

創縁祭の参加経費（無料休憩所）。今年度は、創縁祭が中止となった。

5. 〈食育に関する助成費〉

例年、二松学舎松答会と共同で、学生食堂で「100円朝食」を実施しているが、今年度は、授業がオンライン中心となったため、実施しなかった。

【予備費】

今年度は、コロナ禍における学生支援として、大学に対し200万円の助成を行った。

○〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要となる学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1カ月）便宜を図っている。

○〈特別会計 事業積立金〉

父母会として二松学舎創立150周年事業にむけて、事業積立を行った。

収入の部

(単位:円)

項目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 繰越金	9,847,614	9,847,614	0	前年度繰越金
2 父母会費	29,080,000	29,000,000		新入学生4万円×(文学部487名+政経学部235名)編入学生2万円×(文学部4名+政経学部6名)※
3 助成費	500,000	0	500,000	大学からの卒業パーティー助成
4 雑収入	1,000	527,647	△ 526,647	受取利息、その他
合 計	39,428,614	39,375,261	53,353	

※2020年度文学部新入生は485名のため、80,000の減収

支出の部

項目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 地区別懇談会費	3,300,000	598,560	2,701,440	懇談会は中止し、説明会資料を印刷・配布
教育研究振興助成				
教員の海外研修助成費	600,000	0	600,000	新型コロナウイルス感染症のため、中止
海外研修引率者助成費	500,000	0	500,000	新型コロナウイルス感染症のため、中止
2 就職指導支援経費	1,000,000	566,320	433,680	基礎学力検査・一般常識模試等キャリアセンターの就職指導助成
新入生教育助成費	200,000	198,000	2,000	「学生生活スタートブック」等購入経費 900部
小 計	2,300,000	764,320	1,535,680	
課外活動助成				
課外活動活性化助成費	500,000	0	500,000	新型コロナウイルス感染症のため、課外活動を制限したため助成せず
3 課外活動団体助成費	500,000	50,000	450,000	課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
学生顕彰費	400,000	50,000	350,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
小 計	1,400,000	100,000	1,300,000	
4 大学行事等への助成費	1,200,000	0	1,200,000	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
5 卒業記念パーティー	7,600,000	6,911,986	688,014	卒業パーティーを中止し、記念品を贈呈
6 卒業記念品	3,500,000	3,672,900	△ 172,900	卒業アルバム作成経費
7 奨学金	4,000,000	3,930,000	70,000	父母会の「成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金」52名
8 慶弔費・災害見舞金	200,000	88,579	111,421	学生・父母及び専任教員の死亡に対する供花料及び災害見舞金 7件
会報発行				
印刷・制作費	1,200,000	572,550	627,450	父母会報年4回発行、108～111号
発送費	1,400,000	1,204,830	195,170	会報発送 108～111号
小 計	2,600,000	1,777,380	822,620	
10 外国人留学生支援に関する助成費	300,000	0	300,000	外国人留学生の学習活動等への支援
事業費合計	26,400,000	17,843,725	8,556,275	
11 通信費	650,000	493,782	156,218	総会資料等発送費、はがき・切手等
12 印刷費	650,000	616,154	33,846	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
13 会議費	700,000	126,354	573,646	定期総会・役員会等
14 交通費	380,000	16,340	363,660	役員会等へ出席する役員者の交通費
15 消耗品費	100,000	2,540	97,460	事務用品等購入経費
16 雑 費	80,000	65,630	14,370	振込手数料、その他
運営費合計	2,560,000	1,320,800	1,239,200	
1 宮繕助成費	300,000	300,000	0	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
2 就職指導支援経費	2,500,000	2,117,500	382,500	キャリアセンターの就職指導（キャリアカウンセラー等委託費）助成
3 事業積立金	2,000,000	2,000,000	0	大学における特別事業への支援のための積立
4 創縁祭参加経費	180,000	0	180,000	創縁祭は新型コロナウイルス感染症のため中止
5 食育に関する助成費	550,000	0	550,000	オンライン授業となったため、助成せず
予 備 費	4,938,614	2,000,000	2,938,614	
合 計	39,428,614	25,582,025	13,846,589	

差引残高（次期繰越金）	0	13,793,236	-	
-------------	---	------------	---	--

2021年度予算の概要

この事業計画(案)は、例年の活動計画をベースに作成しており、今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響については、考慮されていません。
 今後、新型コロナウイルスの感染が終息に向かった場合には、本計画を遂行していきたいと考えておりますが、大幅な計画変更を余儀なくされることが予想されます。
 父母会役員会としましては、大学と協議をしながら、適正な予算執行に努めていきたいと考えております。

【経常費】

1. 〈地区別父母懇談会〉

2021年度の地区別父母懇談会は、次の日程・地域で開催する。
 出席については、在住地にかかわらず全国どの会場でも参加できる「オープン参加」形式を今年度も引き続き実施する。

(1) 日程・会場

月日	曜	開催地	会場	所在地	電話
未定		香川県	高松市	ホテルパールガーデン 760-0066 香川県高松市福岡町2-2-1	087-821-8501
未定		鹿児島県	鹿児島市	JR九州ホテル鹿児島 890-0045 鹿児島市武1-1-2	099-213-8000
未定		青森県	青森市	JALシティ青森 030-0803 青森県青森市安方2-4-12	017-732-2580
未定		茨城県	水戸市	プレジデントホテル水戸 310-0803 茨城県水戸市城南2-2-2	029-300-1100
未定		島根県	松江市	ホテル一畑 690-0852 島根県松江市千鳥町30番	0852-22-0188
未定		新潟県	新潟市	ホテルオークラ新潟 951-8053 新潟県新潟市中央区川端町6-53	025-224-6111
未定		秋田県	秋田市	秋田ビューホテル 010-0001 秋田県秋田市中通2-6-1	018-832-1111
未定		東京都	千代田区	九段キャンパス 102-8336 千代田区三番町6-16	03-3216-7427

※東京都(九段キャンパス)会場につきましては、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県在住の方を中心にご案内

(2) 内容

- ・大学の現況報告
- ・学生生活・学習状況・就職状況についての説明
- ・個別相談等
- ・その他

2. 〈教育研究振興助成〉

- 教員の海外研修に対する助成
 教員の海外研修旅費の一部を助成する。
- 海外研修学生引率者助成
 2021年度も中国語圏・英語圏・韓国語圏での語学研修が予定されているので、その旅費の一部を助成する。
- 就職指導支援経費
 キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。今年度は、「SPI対策講座」「日本語検定」「就職筆記対策」「就職活動中の支援」の助成をする。
 就職課程センターで実施する各種講座についても支援を行う。
- 新入生教育助成
 大学で発行している学生生活の手引『キャンパスライフ』を補充するものとして、『学生生活スタートブック「学生生活は危険がいっぱい2021年度版」』を購入し、新入生全員に配布する。

3. 〈課外活動助成〉

- 学生のクラブ・サークル等課外活動の実施に伴う経費の一部を助成する。
- 課外活動活性化助成
 課外活動団体の練習時間の延長、及び休日に行う対外試合等によるスクールバスの運行等経費の一部を助成する。
 - 課外活動団体助成
 クラブ・サークル等課外活動団体の活動費(全国大会出場経費の一部、学外発表会経費の一部等)を「課外活動団体助成費取扱要領(内規)」に従い、助成する。
 - 学生顕彰
 ボランティア活動等の社会活動、国際交流、部活動で特に顕著な業績が認められる団体並びに個人を表彰するとともに奨励金を支給する。

4. 〈大学行事等への助成〉

学生団体が主催する「新入生歓迎式典」「学園祭(創縁祭)」等に経費の一部を助成し学内の活性化を図る。

5. 〈卒業記念パーティー〉

2021年度卒業パーティーを開催する。

6. 〈卒業記念品〉

卒業記念品として卒業アルバムを卒業生全員に贈呈する。

7. 〈奨学金〉

- 下記の奨学金を給付する。
 二松学舎大学父母会成長支援型(資格・能力取得育英)奨学金
【対象】 奨学金の受給資格は、本学の正規課程に在籍する学部生とし、次の各号のいずれかに該当する者とする。
 (1) 公立学校教員採用試験合格者
 (2) 公務員試験合格者
 (3) 父母会が指定した資格の取得者
【給付額】 3万円～15万円(取得した資格や合格した試験に応じて)
【対象学年】 1～4年次
【申請時期】 当該年度11月
【他制度併用の可・不可】 可

8. 〈弔慰金・災害見舞金〉

「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱要領(内規)」に従い、会員(父母)・学生・専任教職員の死亡に対し弔慰金または供花をもって弔意を表す。さらに、火災や自然災害等で学生の自宅やアパート等が被災した場合は、災害の軽重に応じて見舞金を支給する。

9. 〈父母会報の発行〉

大学・父母会の現状、学生生活の状況を会員に伝えるための機関紙「父母会報」を、年間4回発行する。

10. 〈外国人留学生支援に関する助成〉

外国人留学生の支援に関する活動は、1999年度から父母会事業の一環として位置づけ実施している。具体的には、留学生との交流・親睦を図ることを目的とした研修旅行(日本文化探訪プログラム)や、親睦会費用の一部を助成する。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉

学生食堂等に観葉植物を設置する。校舎等における緊急を要する補修等に助成する。

2. 〈就職指導支援経費〉

キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。

3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを始め、周年事業等に予算執行を行ってきた。
 2021年度は、200万円を計上する。

4. 〈創縁祭参加経費金〉

本学園祭「創縁祭」に父母会として無料喫茶ルームを運営するため、コーヒー、紅茶及び茶菓等購入費用を計上する。

5. 〈食育に関する助成費〉

2016年度から実施されている「100円朝食」に継続して助成する。

◇〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要となった学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し(貸し出し期限1カ月)便宜を図っている。本年度もこの制度を継続する。

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	備考
前年度繰越金	13,793,236	
父母会費	29,020,000	新入学生40,000円×721名(文学部477名+政経学部244名) 編入学生20,000円×9名(文学部5名+政経学部4名)
助成費	500,000	大学からの卒業パーティー助成
雑収入	1,000	受取利息
合計	43,314,236	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	備考		
事業費	1 地区別懇談会費	3,300,000	会場費・会議費・教職員出張費	
	教育研究振興助成	教員の海外研修助成費	600,000	教員2名の海外研修費等の一部助成
		海外研修引率者助成費	500,000	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
	就職指導支援経費	就職指導支援経費	1,000,000	一般常識模擬試験・論文文模擬試験等の助成
		新入生教育助成費	200,000	「学生生活ハンドブック」購入経費
	小計	2,300,000		
	課外活動助成	課外活動活性化助成費	500,000	課外活動実施に伴う経費の一部助成
		課外活動団体助成費	500,000	課外活動団体への助成、全国大会出場助成、学外発表会助成等
		学生顕彰費	400,000	大会優勝者など(個人・団体)
	小計	1,400,000		
経常費	4 大学行事等への助成費	1,200,000	・大学行事及び学生会主催行事への助成 ・新入生歓迎式典・学園祭	
	5 卒業記念パーティー	7,600,000	卒業パーティー運営費	
	6 卒業記念品	3,700,000	卒業アルバム	
	7 奨学金	4,000,000		
	8 弔慰金・災害見舞金	200,000	学生・父母及び専任教職員の死亡に対する供花料及び災害見舞い金	
	9 会報発行	印刷・制作費	1,200,000	父母会報年4回発行
		発送費	1,400,000	
		小計	2,600,000	
	10 外国人留学生支援に関する助成費	300,000	外国人留学生の学習活動等への支援	
	事業費合計	26,600,000		
運営費	11 通信費	650,000	総会資料発送費・はがき・切手等	
	12 印刷費	650,000	定期総会資料印刷、封筒印刷	
	13 会議費	700,000	定期総会・役員会等会議費	
	14 交通費	380,000	役員会出席役員者の交通費	
	15 消耗品費	100,000	事務用品費	
	16 雑費	80,000	振込手数料等	
	運営費合計	2,560,000		
特別事業費	1 営繕助成費	300,000	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物等設置補助	
	2 就職指導支援経費	2,500,000		
	3 事業積立金	2,000,000		
	4 創縁祭参加経費	180,000		
	5 食育に関する助成費	550,000	100円朝食(200円×30食×91日)授業日のみ実施	
予備費	8,624,236			
合計	43,314,236			

2021年度 二松学舎大学父母会定期総会議事録

日 時：2021年5月22日(土) 13:30～14:30

場 所：九段校舎 中洲記念講堂

出席者：本年度会員数 3,013名

委任状 1,094名

出席者 32名 合計 1,126名

大学側：江藤学長、福島副学長、中山副学長、五月女学務局長、飛田教学事務部長、
中原教学事務部副部長、馬淵学生支援課長、竹内学生支援課員

1. 開会の辞 司会 染井直人氏

司会者より「本日総会時の会員数は、3,013名であり、父母会会則第9条により委任状を含めて602名の出席が必要です。本日の出席者は32名。委任状は1,094名。合計1,126名です。よって本日の総会は成立する。」との説明があった。

続いて、細谷文雄父母会長、江藤茂博学長からそれぞれ挨拶があった。

2. 議長指名

司会者より「総会の議長は父母会運営細則により会長または会長の指名するものとなっており、会長より新郷尚美さんが指名されているので、新郷議長のもとで議事を進行させたい」との説明があり、新郷氏が席についた。

3. 書記・議事録署名人指名

細谷議長が書記及び議事録署名人として次の各氏を指名した。

書 記 菅波久美子氏

議事録署名人 千澤美千代氏、中村浩子氏

4. 議 事

◇第Ⅰ号議案〈2020年度事業報告並びに決算〉

細谷会長より、議案書に基づき概要説明があり、続いて由川会計監査より監査報告があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

◇第Ⅱ号議案〈2021年度役員選出〉

細谷議長から、会則第6条・9条及び父母会運営細則第3条に基づき、総会において役員（会長・会計監査）を選出することとなっているとの説明があり、その選出方法について諮られた。

選出方法が議長に一任されたのを受け、新郷議長から前回同様、大学側に候補者の推薦を依頼したいとの提案があり、承認された。依頼をうけた大学側（五月女学務局長）より次の各氏が推薦された。

会 長 細谷文雄氏

会計監査 齋藤智子氏、菅波久美子氏

新郷議長が大学側から推薦された各氏について諮ったところ異議なく承認された。続いて細谷会長より就任の挨拶があった。

◇第Ⅲ号議案〈2021年度事業計画並びに予算〉

細谷会長より、議案書に基づき概要説明があった。審議の結果、原案のとおり承認された。

議事終了後、下記の退任役員へ江藤学長より感謝状が贈呈された。

工藤恵美氏、小柴有佳氏、新郷尚美氏、由川志織氏

5. 閉会の辞

司会 染井直人氏

2021年5月22日

議 長 新 郷 尚 美 (印)

議事録署名人 千 澤 美 千 代 (印)

議事録署名人 中 村 浩 子 (印)

書 記 菅 波 久 美 子 (印)

PCR検査実施の報告

東京都による新型コロナウイルス感染症モニタリング検査を行いました

二松学舎大学では、東京都に協力し、九段一号館でPCRモニタリング検査を実施しました。このモニタリング検査は、東京都が新型コロナウイルスの感染者を早期に探知、感染再拡大の防止を図るため、人流のある場所などで行っているものです。

本学での実施は、五月十八日・十九日・二十日・二十七日・二十八日、六月一日・二日の七日間で、通学して対面授業を受けている学生や教職員を対象に行いました。

入校制限が行われている中、一四六名の学生・教職員が検査に協力し、全員陰性であるとの結果が通



知されました。また、現在は、郵送による個人検査を行っています。
本学では引き続き、学生・教職員に対し新型コロナウイルスの感染防止に向けた注意喚起を行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて適切な対応がとれるよう「新型コロナウイルス感染拡大防止のための二松学舎大学の活動基準」を策定し、同活動基準に則って本学の教育研究活動等を行ってまいります。

二〇二一年度役員

会 長	細 谷 文 雄
副 会 長 (学務局長)	五 月 女 肇 志
副 会 長・企 画	染 井 直 人
	千 澤 美 千 代
会 計 監 査	齋 藤 智 子
会 計	渡 邊 幹 雄
会計監査・企画	菅 波 久 美 子

広 報	小 平 修
広 報	福 島 亮 介
	丸 田 綾
	渡 邊 昌 子
	藤 井 由 紀 子
	吉 沼 佳 慧

編集後記

五月二十二日には、二松学舎大学父母会定期総会が、二年ぶりに九段キャンパスの中洲記念講堂で開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じながらの開催のため、総会の実施となりました。例年総会の前後に開催している本学教員による講演会と十三階ラウンジでの懇親会は中止させていただきました。総会のみで開催にもかかわらず、三十二名の父母会員の皆様にご出席いただけましたこと、感謝申し上げます。感染拡大が止まらないなかでの開催となったため、急遽オンラインでも配信させていただきました。

また、例年全国八ヶ所ほどで開催させていただいております地区別父母懇談会も中止させていただきます。七月十七日にZoomによるオンライン地区別父母懇談会を開催いたしました。画面越しではありますが、教職員と父母の皆様が交流できる機会となり、一三〇名超のご父母の皆様にご参加いただきました。ご参加いただきました父母の皆様には、アンケートをお願いし、今後に生かしていきたいと思っております。

不自由な生活が続きますが、学生のより良い学習環境を整えるため、父母会の活動を進めてまいります。